

## ～下記の研究を行います～

# 『当院における抗 HIV 療法施行中患者のポリファーマシーに関する調査』

【研究責任者】 中内 崇夫

【研究の目的】 当院より抗 HIV 薬が処方された方の当院における処方内容について調査を行い、ポリファーマシー<sup>(1)</sup>による有害事象の有無などを確認します。

(1) ポリファーマシーとは単に服用する薬剤数が多いことではなく、それに関連して薬物有害事象のリスク増加、服薬過誤、服薬アドヒアランス低下等の問題につながる状態であること。(厚生労働省：高齢者の医薬品適正使用の指針（総論編）より引用)

【研究の期間】 研究許可日～2022 年 3 月 31 日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2018 年 4 月 1 日より 2019 年 3 月 31 日までに当院で抗 HIV 薬が処方された方。

●研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：患者背景（年齢、性別など）、併用薬について（処方薬、処方薬の数、処方した診療科など）

【研究の資金源】

なし

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI (シオアイ) : Conflict of Interest) とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反については、当院の利益相反審査委員会で審査され適切に管理されています。

- ◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
- ◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- ◎情報等が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

国立病院機構大阪医療センター  
〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14  
TEL (06) 6942-1331 (代)  
研究責任者 薬剤部 薬剤師 中内崇夫